

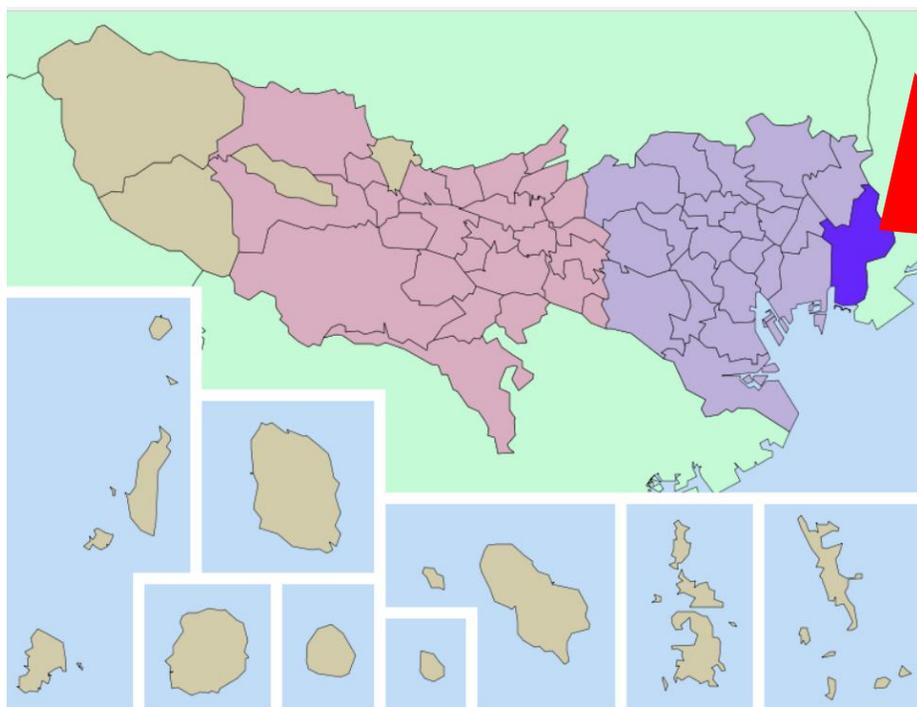
エスニシティ グループワーク

4班：中澤梨紗、新倉有梨子、廣川桃音、長谷川太一、藤田睦

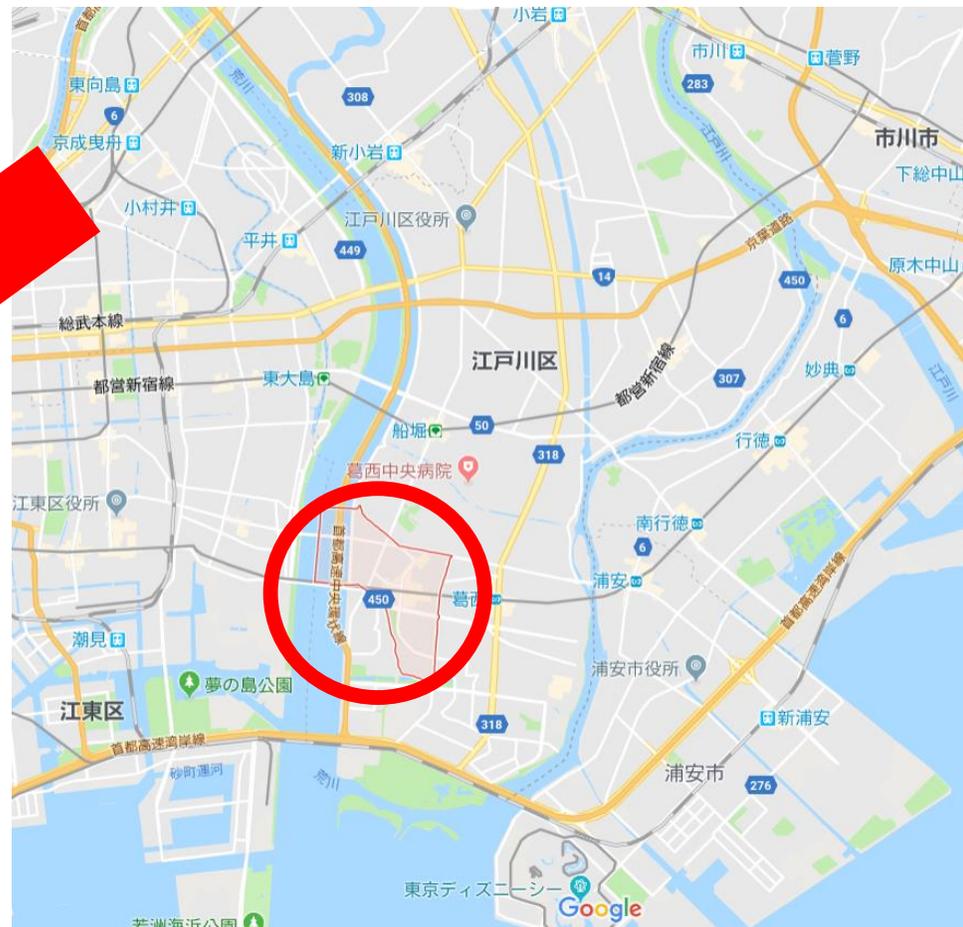
2018年12月6日 社会学基礎演習

担当エスニシティについて

➤ 江戸川区の西葛西



50km



出所:(左図)Wikipedia「江戸川区」(<https://ja.wikipedia.org/wiki/江戸川区>) 2018.11.28閲覧.

(右図)Google「Googleマップ」(<https://www.google.co.jp/maps/@35.6819921,139.8474723,12.78z>) 2018.11.28閲覧

西葛西のエスニシティ

➤ 西葛西はインド人が集まる街

- 約3万4000人の在留インド人のうち、3割は東京都に住んでいる
- 東京23区で最もインド人が多いのが江戸川区

在留インド人について

- ・在留インド人は、在留外国人の中でも1%ほどの割合
- ・1980年代半ばまでは、神戸や横浜に多かった
(90年頃まで江戸川区内のインド人は100人にも満たなかった)

2000年直前に状況が大きく変化

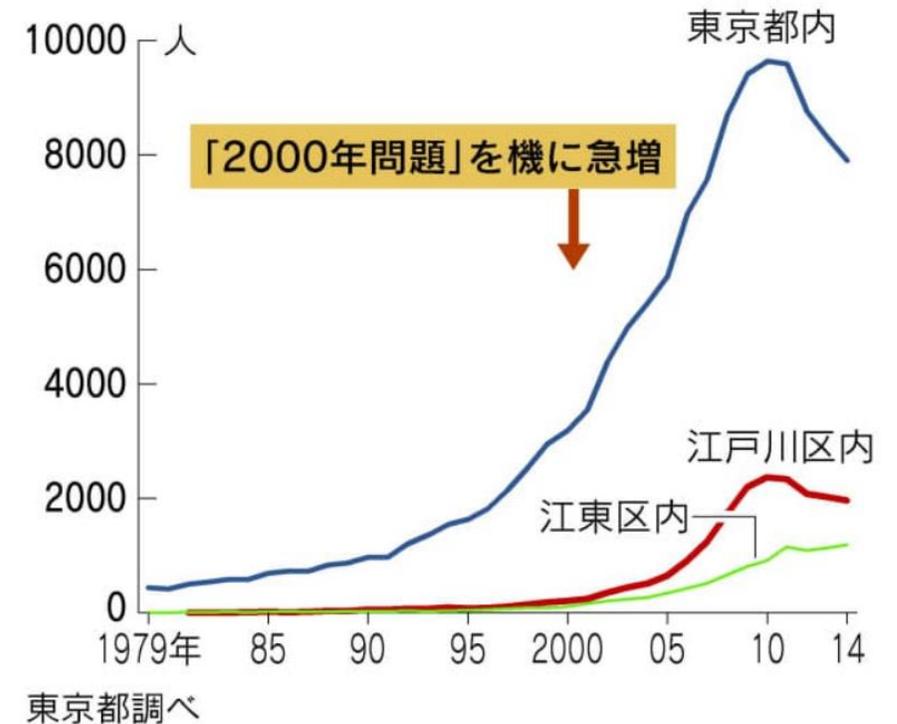


東京に住むインド人が増加

なぜインド人が増加したのか？

- 「2000年問題」がきっかけ
↳ 2000年にコンピュータが誤作動する可能性がある
とされた問題。
➡ 優秀なIT技術者を排出する
インドから人材が来日する
ようになった

東京都内のインド人人口
(都内総数と江戸川区内、江東区内の推移)



なぜ西葛西に住むようになった？

- ◆ 交通の便の良さ(都心に多いIT企業などに近い)
- ◆ インド人が住みやすい環境
- ◆ 西葛西は新しい街のため、地元民と摩擦問題がない

インドに関連する施設



インドに関連する施設2



日本とインドが溶け合う街

- ▶ インド人は地元の日本人社会に溶け込んでいる
 - ・ 毎年10月末にヒンズー教の祭り「ディワリ」
テーマ: 日本人との交流
インド舞踊の披露・インド料理の模擬店・和太鼓の演奏
 - ・ 江戸川インド人会
異国で生活するインド人の支援を行う

考察

- ◆フィールドワークに行った際、ほとんどインド人を見かけなかった。IT関連の仕事で、区外に通勤している人が多いことから、昼間は西葛西にいないのではないか。
- ◆ゴミもなかった。きれいな街であった。
- ◆横浜の中華街や新大久保とは違って、観光地化していない。インド料理屋や食材店は、あくまでインド人たちの生活の一部なのだ。

西葛西の課題点

①インド人だけではなく、よりマイノリティな人々との共生を目指さなければならない。

②在日外国人に対しての情報提供の徹底をしなければならない。

課題点①

▶ インド人だけでなくマイノリティの人々との共生が必要

西葛西では、ネパール人・ベトナム人などが増加しており、「日本人＋在日インド人」という構図は変化すると考えられる。

アジアを中心に、在日外国人の出身が多国籍化している。しかし、西葛西ではインド出身者に向けた機能やコミュニティーが集中しているのが現状である。

よりマイノリティな在日外国人は、地域との関わりも少なく、本国との接点となるような施設やコミュニティーも存在していない。

課題点①

このようなコミュニティの希薄化は、地域での孤立や災害発生時において災害弱者となる危険性もある。

多文化共生を推進する上では、出身国にとらわれないコミュニティを形成する必要がある。区が主体となって、語学のサポートや国際交流イベントを開催することによって、多国籍なコミュニティが展開する可能性がある。

課題点②

➤ 在日外国人に対しての情報提供の徹底

特に医療関係、住居、教育、防災に関する情報に対しては、多言語化を進めていく必要がある。しかし、多国籍化が進む中では、全ての言語に対応することは現実的には難しい状況である。

また、外国人を支援するための施策は多く実施されているが、その情報が必ずしも支援を求める外国人に届いていないとは限らないのだ。

課題点②

在日外国人が必要としている情報について、主要な言語を中心として、できる限り多言語化に取り組む。

それとともに、「やさしい日本語*」での情報提供を進めていくなど、効果的な情報発信方法の検討が必要である。

* やさしい日本語：日本語に不慣れな外国人にも分かりやすくした日本語。

(簡易な表現を用いる・文の構造を簡単にする・漢字にふりがなを振るなど。)

まとめ

- 西葛西はインド人の集住地域
- 「2000年問題」をきっかけに在日インド人の増加
- インド人にとって暮らしやすい街・西葛西
 - ・交通の利便性がある
 - ・インド料理店や食材店、江戸川インド人会などインド人のコミュニティーの存在

まとめ

➤ 西葛西の課題点2つ

① よりマイノリティな人々との共生を目指すこと

⇒ インド人だけでなく、コミュニティの形成が必要

② 在日外国人への情報提供を徹底すること

⇒ 多国籍化する在日外国人に合わせ、情報の伝達も多言語化していく

【参考文献】

- ◆ Wikipedia「江戸川区」(<https://ja.wikipedia.org/wiki/江戸川区>) 2018. 11. 28閲覧.
- ◆ Google「Googleマップ」(<https://www.google.co.jp/maps/@35.6819921,139.8474723,12.78z>) 2018. 11. 28閲覧.
- ◆ 小林明, 2014, NIKKEI STYLE「なぜ東京・江戸川区にインド人村が誕生？」(https://style.nikkei.com/article/DGXNASFE2203L_S4A720C1000000) 2018. 11. 28閲覧.
- ◆ 小林明, 2014, NIKKEI STYLE「日本でインド式教育 IT立国支える理数脳づくり」(<https://style.nikkei.com/article/DGXMZO78410170V11C14A0000000?page=4>) 2018. 12. 5閲覧.
- ◆ 井澤和貴・上山肇, 『地域社会における在日外国人との持続可能な多文化共生に関する研究: 東京都江戸川区西葛西を事例として』法政大学地域研究センター, 2017年